



▲世界文化遺産の富士山麓を疾走する「N700A」(JR東海提供)

CONTENTS

2	新年ご挨拶 謹賀新年 東海鉄道OB会 会長 天谷 昭祐	11	JR東海トピックス
3	新年を迎えるにあたり 東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 碓橋 康英	14	東海鉄道OB会 会員優待情報
4	JR東海グループ・法人会員 新年ご挨拶	15	お元気でですか? 名古屋セントラル病院 緑内陣
6	地本・支部だより ●本部 平成26年 秋の振替受書 日本鉄道OB会連合会が全国大会開催	16	読者のひろば 蘇る思い出 海都支部 原 元 富士山世界文化遺産周遊の旅 三島支部 大川 一雄
7	●名古屋地方本部 寛玉山紅葉の散策を9支部合同で楽しむ マレットゴルフで2回目の支部交流を図る! 竜山・津支部親善グラウンドゴルフ大会の開催 「高山本線開通60周年記念」イベント参画と グラウンドゴルフ大会を開催	17	投稿ページ 鉄道少年団とのSL清掃 御殿場支部 小松 真清
9	●静岡地方本部 秋の花咲く鉢伏山散策と桜瀬「産温泉」を楽しむ 時速500km/hの世界と富士山麓散策の旅		記事募集
10	●東海大坂地方本部 第19回ゴルフ大会を開催 天王山ハイキングとビール工場見学	18	インストラクター 小学生にGゴルフを教える 静岡支部 大村 年雄
			我が支部の誇り 牧之原開拓の雄と三二鉄道 高田支部 松永 肇明
		19	文芸 編集後記

# 謹賀新年



東海鉄道OB会 会長  
天谷 昭裕

明けましておめでとうございます。お揃いで、新年をお迎えになられたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、新幹線開業50周年で、JR東海が主体となって、様々なイベントが開催されるとともに、マスコミにも新幹線が大々的に取り上げられた年でした。昭和39年10月1日、開業初列車を前にテープを切る、当時の石田総裁の姿が、何度も放映され、ご覧になった方も多いと思います。

私自身は開業後一年ほどたって、当時高校生でしたが、初めて米原駅から乗車しました。スマートな新幹線の車体が、駅のホームに音もなく入ってくるのを見て、新しい時代の息吹というものを強く感じたことを覚えています。乗り心地もそれまでの「汽車」とは全く違った、まさに革命的な文明の利器とでもいうべきものでした。「汽車」特有のドン突き現象もなく、いつ出発して、いつ止まったかもわからないような状態で、「汽車」の乗り心地の延長から想像していた、時速200キロのイメージとは全く異なったものでした。本当に素晴らしいものを作ったと、感心するとともに、日本の技術者が作り上げた、世界初の超高速鉄道に対して誇らしく感じたものでした。

ただ当時は、その後の人生において、鉄道と深い縁を結ぶことになるとは、まったく思ってもおりませんでした。

会員の皆様の中には、新幹線に携わってこられた方もたくさんおられると思います。世界に先駆けて、超高速鉄道を実現し、更にそれを発展させてこられた先人に、改めて尊敬の念を抱くとともに、その伝統を受け継ぎ、歴史上類例のない安全な乗り物として、その維持発展に携わっておられる現役の皆さんに、心から敬意を表したいと思います。新幹線

の開業10日後に東京オリンピックが始まり、当時東洋の魔女といわれた女子バレーボールチームが、体格的な劣勢をものともせず、ソ連の選手の弾丸のようなスパイクを拾いに捨て、ついに金メダルを獲得した時には、日本中が大いに沸いたものでした。

昭和39年という年は、戦後の復興が、経済面でも国民精神の面でも一つのピークを迎えつつあった時代ではなかったかと思えます。経済の成長に伴う豊かさというものに、まだ確信が持っていた時代でもあったと思えます。その後、公害問題、オイルショックが起こり、また、昭和の終わりがら平成にかけてはバブルの時代があり、バブルが弾けて、以降の20年にわたる長い経済の停滞も経験しました。

そして今、「日本は戻ってきた」という、政治リーダーの掛け声のもとに、新しい国民的エネルギーをもう一度、呼び起こそうという時代になっています。

奇しくもその時に、再び東京オリンピックが語られ、更に、従来の車輪とレールという鉄道の概念を打ち破る、革命的輸送手段であるリニアが、いよいよ現実のものとなるとうとしています。

リニア実現に向けての英断に、OBの一人として心から敬意を表するとともに、私たちの心の拠り所であるJR東海が益々発展し、日本の経済をけん引する役割を担うとともに、日本人の国民精神を作興していく役割を担っていただきたいと思っています。

この一年がOB会の会員の皆様にとって良い年でありますよう、心から祈念いたします。

# 新年を迎えるにあたり



東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長

柘植 康英

あけましておめでとうございます。昨年4月にJR東海の社長に就任した柘植でございます。OBの皆様が今年も元気に新年を迎えられたことを、心よりお慶びを申し上げます。

OB会の皆様におかれましては、日頃から、当社グループへの増収の協力、駅などの清掃・美化、そして我々が力を入れて取り組んでいるさわやかウォーキングの誘導など、多方面にわたりご支援を頂いており、心より御礼申し上げます。

東海鉄道OB会の各地本・支部においては、会員の皆様スポーツや旅行、文化活動を通じて旧交を温めて頂くなど、活発に活動していただいております。OBの皆様がスポーツや旅行、文化活動を通じて旧交を温めて頂くなど、活発に活動していただいております。OBの皆様がスポーツや旅行、文化活動を通じて旧交を温めて頂くなど、活発に活動していただいております。OBの皆様がスポーツや旅行、文化活動を通じて旧交を温めて頂くなど、活発に活動していただいております。

さて、昨年の当社の状況ですが、お客様の信頼を失うような事故もなく、また、上半期の運輸収入も過去最高だった前年度をさらに2%ほど上回るなど大変順調な1年でした。一方、在来線では、中央本線、東海道本線で大きな災害に見舞われましたが、総力を挙げ、迅速に復旧できました。

東海道新幹線では、大規模改修工事の推進、「のぞみ10本ダイヤ」の開始、新型車両N700Aの投入、この春に予定している最高速度285km/h化への準備など、さらなる安全性とサービスの向上に取り組みしました。また、東海道新幹

線開業50周年に際し、お客様に感謝の気持ちを込めて、当社グループを挙げてお得な商品の販売や各種イベントに取り組み、ご好評を頂きました。在来線では、本年春の電化開業に向けた武豊線の工事や地震対策、津波対策などを着実に進めました。

超電導リニアによる中央新幹線計画では、東京都・名古屋市間において環境アセスメントの手続きを進め、10月には国土交通大臣から工事実施計画の認可を受けたことにより、プロジェクトは「計画」からいよいよ「建設」の段階へ移行しました。一方、山梨リニア実験線では、技術のブラッシュアップやコストダウンに向けた走行試験を実施したほか、一般の方を対象に体験乗車を実施し、大変好評でした。

鉄道以外の事業では、平成29年4月開業予定の「JRゲートタワー」の建設を着実に進めており、地上部分が本格的に立ち上がりてきました。

本年も、安全・安定輸送の確保を最優先に、一層の輸送サービスの充実、収益力強化、効率化に努めてまいります。

本年もOB会活動が活発に行われ、会員の皆様ますます元気に活躍されることをお祈りするとともに、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



明けましておめでとうございます

<p><b>東京ステーション開発株</b> 代表取締役社長 明石 洋一</p>	<p><b>新横浜ステーション開発株</b> 代表取締役社長 中山 正幸</p>	<p><b>ジェイアール東海静岡開発株</b> 代表取締役社長 小林 創</p>
<p><b>静岡ターミナル開発株</b> 代表取締役社長 久野 義彦</p>	<p><b>浜松ターミナル開発株</b> 代表取締役社長 新田 雅巳</p>	<p><b>豊橋ステーションビル株</b> 代表取締役社長 氏原 伸</p>
<p><b>ジェイアールセントラルビル株</b> 代表取締役社長 天谷 昭裕</p>	<p><b>名古屋ステーション開発株</b> 代表取締役社長 蟹沢 清治</p>	<p><b>ジェイアール東海関西開発株</b> 代表取締役社長 和泉 秀郎</p>
<p><b>ジェイアール東海不動産株</b> 代表取締役社長 平澤 純一</p>	<p><b>株ジェイアール東海パッセンジャーズ</b> 代表取締役社長 渡部 一俊</p>	<p><b>ジェイアール東海商事株</b> 代表取締役社長 可知 照生</p>
<p><b>株ジェイアール東海高島屋</b> 代表取締役社長 久末 裕史</p>	<p><b>東海キヨスク株</b> 代表取締役社長 中村 満</p>	<p><b>ジェイアール東海フードサービス株</b> 代表取締役社長 坂田 雅哉</p>
<p><b>株ジェイアール東海ホテルズ</b> 代表取締役社長 印南 隆夫</p>	<p><b>静岡ターミナルホテル株</b> 代表取締役社長 印南 隆夫</p>	<p><b>株ジェイアール東海ツアーズ</b> 代表取締役社長 吉田 修</p>
<p><b>株ジェイアール東海エージェンシー</b> 代表取締役社長 阿久津 光志</p>	<p><b>株 ウェッジ</b> 代表取締役社長 布施 知章</p>	<p><b>ファーストエアートランスポート株</b> 代表取締役社長 浅倉 誠治</p>
<p><b>ジェイアール東海バス株</b> 代表取締役社長 木學 康充</p>	<p><b>株東海交通事業</b> 代表取締役社長 山守 努</p>	<p><b>ジェイアール東海物流株</b> 代表取締役社長 加藤 公一</p>
<p><b>ジェイアール東海建設株</b> 代表取締役社長 後藤 晴男</p>	<p><b>ジェイアール東海コンサルタンツ株</b> 代表取締役社長 森下 忠司</p>	<p><b>日本車輛製造株</b> 代表取締役社長 中川 彰</p>

明けましておめでとうございます

(順不同)

<p><b>新生テクノス(株)</b> 代表取締役社長 杉本章</p>	<p><b>新幹線エンジニアリング(株)</b> 代表取締役社長 石川栄</p>	<p><b>東海交通機械(株)</b> 代表取締役社長 本間幸雄</p>
<p><b>日本機械保線(株)</b> 代表取締役社長 寺島優</p>	<p><b>中央リネンサプライ(株)</b> 代表取締役社長 藤川紳</p>	<p><b>ジェイアール東海情報システム(株)</b> 代表取締役社長 吉田孝登志</p>
<p><b>ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株)</b> 代表取締役社長 水嶋敏行</p>	<p><b>新幹線メンテナンス東海(株)</b> 代表取締役社長 工藤純生</p>	<p><b>東海整備(株)</b> 代表取締役社長 滝井孝</p>
<p><b>セントラルメンテナンス(株)</b> 代表取締役社長 浜田賢治</p>	<p><b>(株)関西新幹線サービック</b> 代表取締役社長 清水厚真</p>	<p><b>双葉鉄道工業(株)</b> 代表取締役社長 関雅樹</p>
<p><b>シーエヌ建設(株)</b> 代表取締役社長 山口善久</p>	<p><b>(株)全日警</b> 代表取締役社長 片岡由文</p>	<p><b>(株)鉄友社</b> 代表取締役社長 金井博史</p>
<p><b>(株)名古屋鉄友社</b> 代表取締役社長 鈴木厚志</p>	<p><b>名工建設(株)</b> 代表取締役社長 野田豊範</p>	<p><b>(株)リック・フーズ</b> 代表取締役社長 寺田年克</p>
<p><b>日本貨物鉄道(株) 東海支社</b> 支社長 吉澤淳</p>	<p><b>アイワ電設開発(株)</b> 代表取締役社長 下川弘</p>	<p><b>鉄建建設(株) 名古屋支店</b> 執行役員支店長 山本孝栄</p>
<p><b>東邦電気工業(株)</b> 代表取締役社長 内田滋</p>	<p><b>名古屋通信工業(株)</b> 代表取締役社長 田辺忠宏</p>	<p><b>(株)中部総合ビルサービス</b> 代表取締役社長 外山和巳</p>

**本 部****平成26年 秋の叙勲受章**

平成26年11月3日、秋の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、4名の方が栄えある賞賜を受けられました。おめでとうございます。

その伝達式が、11月7日ニッショーホール（消防業務功勞）、11月13日東京プリンスホテル（鉄道業務功勞）で行われました。（順不同）

**日本鉄道OB会連合会が全国大会開催****東海鉄道OB会 事務局**

日本鉄道OB会連合会の第10回全国大会が、10月16日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントで開催されました。東海鉄道OB会からは、天谷会長をはじめ各地方本部長及び支部の代表が出席しました。

大会では、佐々木会長の挨拶で「会員数の推移について、ピーク時22万4千人だった個人会員は11万2千人、準会員を含めても15万人まで減少している。JR退職者が占める割合は34%で、OB会活動は現在も国鉄OBで支えていると言ってもいい。今後は、準会員の加入促進、職域支部の拡充・拡大を図る施策によって会員増強を図って、次のJR世代にどのように繋げていくか考える必要がある。会員の高齢化を踏まえて、生きがいづくり、健康づくりといった新しい活動にも取り組まざるを得ないとして、現役OB会員の活動の更なる活性化が求められる」と述べられました。

その後、長い間OB会活動に力を注がれOB会の発展に寄与された会員に特別功勞章、また、自分の趣味を生かして会員等を指導したり、活動を通して地域に貢献された方々にインストラクター表彰が贈られました。

東海鉄道OB会では、次の方が受賞されました。

**〈特別功勞章〉**

静岡地方本部	沼津支部	高橋 秀則
名古屋地方本部	陶都支部	中川 博行

**〈インストラクター表彰〉**

静岡地方本部	清水支部	草谷 實
名古屋地方本部	半田支部	高橋 靖宏

## 名古屋地方本部

### 覚王山紅葉の散策を9支部合同で楽しむ

#### 名古屋地区協議会

11月21日に、3回目のレクリエーション活動交流会を開催しました。

今回は、名古屋市中村区の覚王山一帯にある「日泰寺・揚輝荘・城山八幡宮」を散策しました。9支部から家族を含め63名と多数が参加し、秋晴れの中、毎月21日に開かれる日泰寺の縁日や、見頃を迎えていた揚輝荘の紅葉を楽しみました。

「日泰寺」は、タイ国王より日本に贈られた仏舎利を祀るため、明治37年に、いずれの宗派にも属さない日本仏教徒全体の寺院として建立されました。参拝の後には、緑日てなう参道や境内で、出店した露店を三々五々に廻って買物などを楽しみました。

日泰寺に隣接する「揚輝荘」は、松坂屋の初代社長が大正時代から昭和初期に構築した別邸で、ガイドの解説に耳を傾けながら風格ある歴史の建造物を見学、真赤に色づいた紅葉が映える池泉回遊式庭園を散策しました。

昼食の中華料理店では、丸テーブルを囲んで久しぶりの出会いに話を弾ませ、楽しい一時を過ごしました。その後、標高



▲揚輝荘で解説に耳を傾ける皆さん

43mの小高い丘に建つ「城山八幡宮」へと向かいました。少々急な坂道で、お互い励まし合いながら上り切り、七五三詣りの家族に交じって参拝を済ませました。

地下鉄覚王山駅を起点に、次駅の本山駅間における名古屋の秋を満喫した5時間散策でした。「また来年も会おう」と言葉交わしながら散会しました。

### マレットゴルフで2回目の支部交流を図る!

#### 中津川支部 丸山 裕 恵那支部 市川 永明

中津川支部と恵那支部では、会員の体力増強とコミュニケーションを図る目的で、10月15日に2回目のマレットゴルフ大会を今回は恵那支部主催で行いました。

場所は、恵那峡マレットゴルフ場で、台風19号も去り爽やかな天候に恵まれ運動には最高の日となりました。

マレットは、ゴルフと同じでショート、ミドル、ロングとあり、ボールは硬くて大きく、それをスティックで打って穴に入れる競技です。スコアはゴルフと同じです。

初めての人でもすぐにでき、林の中にコースがあってアップダウンが厳しく、健康のためには非常に良い運動になるので人気があります。

参加者は、今回18名(中津川支部9名、恵那支部9名)で5組に分けて行い組の中ではOBを5回も出したとか、ホールインができたとか、和気あいあいにコース(36ホール)を回ることができました。

皆さん汗かかずに疲れた様子もなく休憩室で冷えたお



▲元気で楽しんでいる皆さんの様子

茶を飲みながら表彰式を行いました。

支部の活性化を図る一環としては良い競技ですので、参加者を増やすよう呼び掛けを行い、練習を入れ1回目は必ず実施することになりました。

費用は、300円でコースを回ることができ、道具も借りることができますので打ちにできる運動で非常に良い競技です。

## 亀山・津支部親善グラウンドゴルフ大会の開催

亀山支部 渡辺 吉一

先日10月3日(金)に支部の交流を図ろうとグラウンドゴルフ大会を一身田身体障害者センター広場で開催しました。

亀山支部10名、津支部18名の合計28名で、参加費500円、3ゲーム制で総得点でのゲームを行いました。

天候も台風18号が近づいているため、雨の心配もりましたが、当日は幸いにも晴天となり、絶好の日和となりました。

先導役の平岡さんの指示・進行のもとで、9時15分にゲームをスタートしました。

最初は、和気あいあいと楽しんでスタートしましたが、そこは勝負事、時間が経つにつれ、皆がだんだんと熱が入り負けず嫌いな顔も発揮して、ホールインワンも沢山出て(11番)一人3回もする人もあり、また、優勝スコアも3ゲーム55点と素晴らしい成績で、優勝は、村治昭彦さんで55点、準優勝は、田辺 昇さんで56点、三位は、私 渡辺吉一が63点という



▲青空の下、元気な姿が揃い並び

結果でした。

ゲームには、一組のご夫婦参加もあり、チームも支部同士との交流が図れるよう、同じ支部の人が重ならないようバランスよく組み合わせて楽しく進んできました。

最後に、今度は亀山支部が主催で行うことを約束してケガ人もなく無事終了しました。

## 『高山本線開通80周年記念』イベント参画とグラウンドゴルフ大会を開催

高山支部 中井 治男

当支部の活動としては、年1回の定期総会の開催のみで、他に会員相互の親睦を図る機会がなく、病気見舞いとお悔やみの活動だけでしたが、今年10月25日に、高山本線開通80周年を迎えることから、春の総会の席で何か記念行事をしてはどうかという意見が出されました。

いろいろ検討する中で、高山市が高山本線開通80周年記念の一環として、高山市が後援して高山市社会福祉協議会、NPO法人高山おもちゃ病院が主催で「高山本線開通80周年の『あゆみ』と思い出のコレクション展」が行われることになり、そのイベントに東海鉄道OB会高山支部も共催として参画し、10月24、25、26日の3日間、高山市総合福祉センターで開催されました。

会場には、開業時の高山駅や沿線の風景写真、SLが急勾配の坂を黒煙を上げながら登る雄姿の写真の数々、開通当時から職員が使用した鉄道用具、全田から収集した国鉄の記念切符、入場券、ポスター、親交で手に入れたSLの汽笛、安全弁、圧力計、加減弁、転轍標識、ミニジオラマなどなど、会場いっぱいコレクションに連日たくさんの方々が来場して賑わいました。

おもちゃ鉄道ポッポ公園の広場では、高山おもちゃ病院が



▲SL、ラッセル車の説明員を務めたメンバー

出品したミニSL無料乗車会が行われ、また、静態保存の96型機関車とラッセル車の運転室への試乗会には、96型SL保存会会員と客貨車区の元職員が説明を行い、家族連れなどで賑わっていました。

支部独自では、会員相互間の親睦を図るため、グラウンドゴルフ大会を計画しましたが、初めての試みであり、尚且つ、周知不足もあって7名の参加と少数ではありましたが、7月18日に第1回目を開催しました。参加者の中には、初めてクラブを握る人もありましたが、和気あいあいと交流を深めることができました。



## 静岡地方本部

## 秋の花咲く鉢伏山散策と秘湯「崖温泉」を楽しむ

清水支部 小長谷 勝

清水支部ハイキング倶楽部9月の例会は、5日長野県的美ヶ原と高ボッチ山・鉢伏山へ行ってきました。

今回もOB・家族など18名が参加、美ヶ原は生憎の雨でしたが、高ボッチ山・鉢伏山は雨の合間をぬって高原歩きを楽しみました。

山は既に秋、お目当てのマツムシソウは既に終わっていましたが、ススキの高原にはトリカブト、ウメバチソウ、アキノキリンソウ、ハクサンフロ、マツバダケブキなどが目を楽しませてくれました。

残念ながら山の景色は見えませんでした。好評だったのは、標高1,040mの秘湯「崖温泉」、少しゆるめの温泉ですが、露天風呂からの展望は素晴らしく、眼下に松本の市内が



▲雨の中で参加者全員で記念写真

見渡せ良い気分になりました。天気よければアルプスの山が見渡せるそうです。帰りの車中では、恒例の「你好教室」と「詩吟教室」が行われ、詩吟では、秋の詩が披露され、今回も楽しい一日を過ごしました。

## 時速500km/hの世界と富士山麓散策の旅

身延支部 若林 庄明

当支部は、会員の健康状態、近況を何う例年納涼日帰りの旅を実施しています。

今年は、拡大役員会等で検討の結果、先般安倍内閣総理大臣、ケネディ駐日米国大使が訪問され、JR東海が5兆円規模の予算で取り組んでいる超電導リニア技術を山梨実験線の走行試験を間近で見学したいとの会員の声が多く出て実施することとしました。

9月6日、会員26名参加でバスにて十島駅から甲府、石和温泉駅間の会員を順次乗せた後、中央自動車道を利用して山梨リニア

見学センター、河口湖畔のホテルで昼食・納涼会、富士山北口浅間神社参拝、忍野八海等を巡るコースで出発しました。

リニア館では、超電導リニア体験乗車、走行試験中の車輪を間近で見るとは叶えられませんでした。世界最高速度を記録した試験車の見学、浮上走行の模擬体験などを通じて、日本独自の最先端技術の超電導リニアが将来物流を大変化させるであろうと想像しながら、河口湖畔のホテルに



▲リニアに思いを馳せる皆さん

向かいました。

昼食・納涼会場では、リニアをはじめとした様々な話題で大いに盛り上がり親睦を深める中で、新年会を早く計画して欲しいとの意見も出るなど、健康で生甲斐のある楽しい人生をOB会を通じて互いに頑張ろうなどと確認し合い、次の富士山北口浅間神社に参拝、忍野八海を散策して涼風、冷水を浴びることができた楽しい納涼の旅でした。

## 東海大阪地方本部

## 第19回ゴルフ大会を開催

東海大阪地方本部 事務局

平成26年10月22日、当地方本部主催の第19回ゴルフ大会を、恒例となりました「瀬田ゴルフコース」にて開催いたしました。

スタート開始一時間前には、おおよそ半数が到着しており、意気込みの凄さを痛感させられました。秋雨前線の影響で今にも泣き出しそうな天候のもと、31名の参加によるプレーを進めてまいりましたが、生憎午後からは小雨に見舞われて若干肌寒さを覚えるコンディションとなりました。

グリーン上のパッティングが思うようにいかず、雨のせいでグリーンが重くなったとか、カップの切り方が良くない等々、毎度のことながら我が腕前をさておいてのコメントが垣間聞かれました。

また、好まずにボールがバンカーに呑み込まれると「孫と同じで砂遊びすきやな～」との嘆き声が聞かれながらも楽しいプレーとなりました。

大会成績は、皆さんの不断の修煉の賜物が僅差での順位



▲スタート前に意気込みを胸に秘めて

付けとなり、更にニアピン賞やドラコン賞を1人で複数ゲットする会員が多くみられるなど、ゴルフが本当に親しまれている感を受けました。

表彰式後の懇親会では、好プレーや珍プレーの話題や近況の談話に華が咲き、心地よくゴルフ疲れを癒しながら、来年春の第20回大会の日程の知らせに、それぞれ様々な思いを巡らせ、お互いの再会を告げて会場を後にしました。

大会の成績は次のとおりです。(敬称略)

優勝	運輸営業支部	宮地 淳二
準優勝	車両支部	日笠 恭秀
第三位	運輸営業支部	杉原 英雄

## 天王山ハイキングとビール工場見学

東海大阪地方本部 車両支部 藤田 義晴

曇一つない秋晴れの10月18日(土)10時30分 JR山崎駅に集合し、秋とは思えない強い直射の中、コンビニ店で兵糧(弁当)とお茶(ペットボトル)を仕入れて駅を出発、5分ほどで天王山登山口へ。この急な坂道は一気に駆け上がりながらゆっくり一歩ずつウォーミングアップを兼ね、最初の宝積寺をめざしました。

歩道の高層は、住宅地で車の往来もあり「後ろから車がきます」などとお互いに声を掛け合い、一汗かきながら登っていきました。宝積寺では、安全にハイキングができるように折り、全員で記念写真を撮り、次の目標の旗立松展望台に向けて歩き始めました。

旗立松展望台は、山頂までの中間にあり、大阪、京都方面を見下ろすことができ、秀吉が地の理を生かした味方の士気を高めた場所で、天王山を本陣として構えた理由がわかる場所でした。

11時40分頃、山頂へ到着して再度記念写真を撮り、昼食は近況報告や昔話で話が弾む楽しい昼食時間となりました。



▲天王山山頂での記念写真

12時30分山頂を出発、小倉神社への下山ルートは、木立の中を進み、十方山分岐点からは急な坂道になり、約1時間かけて小倉神社へ到着しました。

その後、15時からはサントリービール京都工場でのビールの発酵から完成品までの工程を見学し、見学後は待ちに待った美味しいビールで乾杯して無事に全行程を終えることができました。

## 中央新幹線品川・名古屋間の 工事实施計画(その1)の 認可

●中央新幹線推進本部

当社は、全国新幹線鉄道整備法第9条に基づき、国土交通大臣に認可申請を行っていた中央新幹線品川・名古屋間の工事实施計画(その1)について、本年10月17日に認可を受けました。

日本の大動脈輸送の二重系化を実現するプロジェクトがいよいよ建設の段階に入っていきますので、関係者のご理解

やご協力をいただきながら、安全と環境、地域との連携を重視して、早期実現に向けて取り組んでいきます。



▲大田国土交通大臣より認可書を受け取る柘植社長

### 全国新幹線鉄道整備法の手続きの流れ

(第4条)	基本計画	・昭和48年11月決定
(第5条)	調査指示	・地形地質調査：平成2年2月指示 → 平成20年10月報告 ・4項目調査：平成20年12月指示 → 平成21年12月報告
(第14条の2)	交通政策審議会	・平成22年2月24日諮問 → 平成23年5月12日答申
(第6条)	営業主体・建設主体指名	・平成23年5月18日同意 → 平成23年5月20日指名
(第7条)	整備計画	・平成23年5月23日同意 → 平成23年5月26日決定
(第8条)	建設の指示	・平成23年5月27日指示
(第9条)	工事实施計画	} (この既、環境影響評価を実施) ・平成26年8月26日申請 → 平成26年10月17日認可
	工事着手	

## 東海道新幹線開業50周年 高速鉄道国際会議 ～飛躍する高速鉄道～

●総合技術本部

10月22日、一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)、当社、JR西日本、JR九州の4者主催により、東海道新幹線開業50周年を記念した高速鉄道国際会議をホテルオークラ東京で開催し、11の国と地域からの海外招待者を含め、約300名に参加していただきました。

会議では、「Crash Avoidance(衝突回避)」の原則を最大の特徴とする日本型高速鉄道の発展の軌跡、新幹線が社会に与えた影響、各事業者の取組みについて発表があった後、これから高速鉄道を導入しようとする国々の現状や課題について、各国代表者がディスカッションを行いました。また、超電導磁気浮上式鉄道(SCMAGLEV)がひらく未来について、柘植社長及び米国代表者による発表も行われました。会議中は活発な意見交換や情報共有が行われ、有意義な場となりました。

会議終了後には、当社主催でディナーパーティーを開催し、安倍内閣副理大臣及び大田国土交通大臣にご出席いただき、ご祝辞を賜りました。



▲京都に立つ柘植社長



▲活発な意見交換と情報共有が行われた高速鉄道国際会議



## 東海道新幹線の50年 ～「進化」へのたゆまぬ努力と着実な実績～ 「日本鉄道賞」大賞を受賞

●新幹線鉄道事業本部 ●総務部

「東海道新幹線の50年」が第13回日本鉄道賞の「大賞」を受賞し、10月14日に表彰式が行われました。

表彰式は、「鉄道の日」記念祝賀会（於：グランドプリンスホテル新高輪）のなかで行われ、日本鉄道賞表彰選考委員会 安部順一委員（中央公論編集長）から金子副社長へ記念の盾が手渡されました。

日本鉄道賞は、「鉄道の日」創設の趣旨である、鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的として創設された表彰制度です。

東海道新幹線が開業して50年を迎え、さらなる「進化」へのたゆまぬ努力とそれに基づく着実な安全・安定輸送の「実績」は国民の誇りである、と高く評価されました。



▲記念の盾を受け取る金子副社長



▲記念の盾



▲表彰式の様子

## 12月1日より高山本線・太多線・紀勢本線・ 参宮線へ順次

### 新型気動車(キハ25形2次車) の投入

●東海鉄道事業本部

在来線では、より一層の安全性の向上を図るべく、平成22年度に新製投入した気動車のキハ25形1次車に新たな機能・設備を追加した新型気動車（キハ25形2次車）の製作を進めてきました。

12月1日よりキハ25形2次車を高山本線・太多線に投入します。来年度は紀勢本線・参宮線に投入し、平成28年3月までに全52両の投入が完了します。

キハ25形2次車は、台車等の状態を常時監視する「振動検知装置」を在来線車両として初めて搭載している他、「動力伝達軸落下防止枠」の強化、「減速機の支え構造」の改

良など、安全性の向上を図っています。

また、このキハ25形2次車は鹿対策の「鹿衝撃緩和装置」を標準搭載しています。さらに、当社の気動車として初めて室内灯にLEDを採用することで環境負荷の低減も図っています。

キハ25形2次車の投入により、平成28年3月には、当社の在来線気動車がすべてJR東足以降に新製した車両となる予定です。



▲新型気動車のキハ25形2次車(右)と現在高山本線・太多線で走行しているキハ140形気動車(左)

82社に心より敬意と感謝

## 東海道新幹線50周年 感謝状贈呈式

●管財部

10月28日、リニア・鉄道館で「東海道新幹線50周年 感謝状贈呈式」を開催しました。

東海道新幹線の安全・安定輸送を永年にわたり支えていただいた、車両・施設・電気・信号通信等の各分野のメーカー82社さまに、柘植社長より直接、感謝状を贈呈しました。

柘植社長からは、「東海道新幹線の素晴らしい所以は品質。50年間における品質や機能の向上は目覚ましく、この技術のブラッシュアップこそが今日の新幹線を築き上げてきた。本日ご出席いただいた皆さまには、素晴らしい部品などを製作いただき、日頃の熱意と技術力で今日まで磨き上げていただいた。これまでの取組みに対し、心より敬意と感謝を申し上げます」とのお礼と挨拶がありました。

今後も関係メーカーと協力し、東海道新幹線の安全・安定輸送及びサービスレベルの向上に努めていきます。

▲出席代表挨拶を行う  
新日鐵住金株の森川裕樹

▲挨拶する柘植社長



▲感謝状贈呈式に出席した皆さん

東海道新幹線開業50周年記念

## (株)全日警及び東海道新幹線 沿線鉄道警察隊へ感謝状

●総務部

10月1日に東海道新幹線開業50周年を迎えたことから、これまでの安全・安定輸送にご尽力いただいた㈱全日警と東海道新幹線沿線の8都府県の鉄道警察隊(警視庁・神奈川県警・静岡県警・愛知県警・岐阜県警・滋賀県警・京都府警・大阪府警)に感謝の意を表すため、社長名による感謝状と記念品を贈呈しました。

㈱全日警は平成元年以降、駅構内・車内・沿線等を中心に警備業務に従事していただきました。10月17日に行われた㈱全日警への贈呈式では、柘植社長から「お客さまからは、安心して駅を利用し、列車に乗車して旅行ができるという高い評価をいただくな

ど、非常に高い輸送を提供できていることについて、50年の節目に感謝を申し上げたい。引き続き、より高い水準での安全・安定輸送を維持・向上させるべく、一層のご支援を願いたい」との挨拶がありました。

これに対して、㈱全日警の片岡社長が「今後のさらなる安全・安定輸送に寄与すべく、全社一丸となって業務を遂行していきます」との挨拶を述べました。

また、鉄道警察隊には前身の鉄道公安の時代も含め、日夜、駅構内・車内等の秩序維持活動にご尽力いただきました。各地区で行われた贈呈式では、稲葉総務部長から感謝状と記念品を贈呈し、今後も緊密に連携していくことを相互に確認しました。



▲愛知県警鉄道警察隊への贈呈式



▲㈱全日警への贈呈式

## ホテルアソシア静岡 レストラン特別優待

ホテルアソシア静岡が誇る5つの一流レストラン(日本料理「華雲」、中国料理「梨杏」、鉄板焼「那古亭」、イタリア料理「アルポルト静岡」、コーヒーショップ「バーゴラ」)において、東海鉄道OB会会員様向けの特別優待をご用意しました。

ホテル2階の日本料理「華雲」は、静岡をはじめ各地の旬の素材を、伝統ある京料理の手法でお届けします。また15階のイタリア料理「アルポルト静岡」は、日本のイタリア料理の先駆者である片岡謹シェフ監修のお店で、常に究極の味を求め独自のスタイルで展開する本格的なイタリア料理を堪能できます。

新年会プランでもご利用いただけます。優待価格でお召し上がりいただけるこの機会に、ぜひご利用ください。

### ■ ホテルアソシア静岡 レストラン特別優待

#### 飲食代金10%割引

※期間 平成27年1月5日～3月31日

※各店名の順「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。  
 ※OB会会員1名様につき、お連れ様(人数分)も優待します。  
 ※コーヒーショップ「バーゴラ」の朝食時間帯は割引適用外です。  
 ※特別催事商品、プラン商品等、一部割引適用外の商品がございます。  
 ※他の割引との併用は致しかねます。



「アルポルト静岡」おまかせディナーコース



「華雲」京会席

営業時間	ランチ 11:30～14:30 (ラストオーダー14:00) ディナー 17:30～21:00 (ラストオーダー20:30)
ご予約・お問い合わせ	日本料理「華雲」・鉄板焼「那古亭」 Tel.(054)271-2293(10:00～21:00) 中国料理「梨杏」 Tel.(054)254-4470(10:00～21:00) イタリア料理「アルポルト静岡」 Tel.(054)205-8633(10:00～21:00) コーヒーショップ「バーゴラ」 Tel.(054)254-4460(9:00～21:00)

## ホテルアソシア高山リゾート「冬こそ飛騨路」会員限定特典

冬こそ美しい飛騨路。JR東海ツアーズでは、JRの往復きっぷが付いたお得なプラン「冬こそ飛騨路」を発売中です。このたび、東海鉄道OB会会員様限定で、このツアープランをお申込みいただいた際の特典をご用意しました。パリエーション豊かな温泉で、冷えた体を温めほっと一息、穏やかな時間を過ごしてみませんか。

### ■ JR東海ツアーズ「冬こそ飛騨路」(～2015年3月30日の毎日出発)

往復JR+宿泊(1泊朝食付)

- 東京・品川駅発着 ¥22,300～ ● 名古屋駅発着 ¥9,900～
- 静岡駅発着 ¥18,100～ ● 新大阪駅発着 ¥15,900～

#### プラン特典

- 高山・白川郷グルメを楽しむクーポン券4枚が付いた「高山食歩きブック」付!
- 観光施設や飲食、お土産店等で割引などの特典が受けられる「Shupoクーポンブック」付! (首都圏・静岡・関西地区発着のお客様限定)
- 30日前までにお申し込みの場合、基本代金からの割引あり
- 追加代金でグリーン車利用も可能
- 白川郷バスプランあり(おとなおひとり様3,000円増)

お申込みはお近くのJR東海ツアーズ各支店まで

「冬こそ飛騨路」  
パンフレット



### 東海鉄道OB会 会員限定特典 お部屋の無料アップグレード(2名～3名1室) スタンダードルームのおねだんで、デラックスルームをご用意!

※JR東海ツアーズで「冬こそ飛騨路」のホテルアソシア高山リゾート宿泊プランをお申込みいただいた後、ホテルアソシア高山リゾートにお電話で「冬こそ飛騨路」のプランを購入した東海鉄道OB会会員である旨をお伝えください。

※OB会会員1名様につき、お連れ様のお部屋も無料アップグレードします。  
 ※満室等により、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

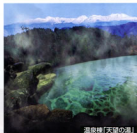
10種類の露天風呂と2種類の内湯からは、天気や気候によれば雄大な北アルプスを眺めることができます。

● エキジット(アウト) 15:00/12:00

● 駐車場完備

● 白川郷から無料シャトルバスあり。  
 または駅から車で約10分

ご予約・お問い合わせ ホテルアソシア高山リゾート  
 Tel.(0577)36-0001

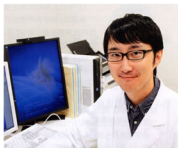


温泉棟「天竺の湯」



## 緑内障

名古屋セントラル病院  
眼科 副院長 栗本 幸英



### 緑内障とは？

緑内障は、何らかの原因で視神経が障害され、視野(見える範囲)が狭くなる病気です。日本人の40歳以上の20人に1人がかかるといわれ、日本における失明原因の第1位です。

多くの場合、非常にゆっくりと視野障害が進行していき、本人が気づいた時には手遅れということがしばしばあります。

### 緑内障の原因と症状

眼球は房水という液体によって一定の圧力に保たれており、この圧力を眼圧といいます。

房水は眼球内で作られ、管を通過して眼外に排出されますが、なんらかの原因で房水がうまく排出されないため眼圧が高くなります。眼圧が高くなると視神経が圧迫されて傷つき、視野が狭くなっていきます。

### 緑内障の治療

緑内障の治療は病気の進行を食い止めるため、眼圧を低くコントロールすることが最も有効とされています。眼圧を下げる方法としてはまず点眼治療を行うのが一般的で、1種類の点眼薬から始め、効果が不十分な場合は薬を変更したり、2種類、3種類の薬を併用することもあります。薬だけで眼圧が十分に下がらない時は、レーザー治療や手術を行います。しかしこれらの治療はあくまでも緑内障の進行を食い止めるためのもので、一度狭くなった視野が元に戻ることはありません。そのため、進行する前にできるだけ早期に発見し、治療を開始、継続することが大切です。

緑内障は初期には自覚症状がほとんどなく、知らないうちに病気が進行していくことが多くあります。緑内障の早期発見には定期的に眼圧や眼底の検査を受けることが大切ですので、人間ドックなどを利用して定期的な検査を心がけましょう。

#### (視野障害の進行のイメージ)



名古屋セントラル病院では、基本の人間ドックのコースに眼圧・眼底の検査が含まれています。

## 蘇る思い出



陶都支部  
原 充

10月8日、陶都支部主催の「リニア・鉄道館」見学会を機会に、国鉄時代の出来事を振り返ってみように参加しました。

当日、名古屋駅の過酷な勤務だった2年間や、あおなみ線の前身の「西臨港線」、昭和24年就職直後、技師とトランシット、紅白のボールを担いで、鳥森、荒子、稲永、名港と線路の測量補助した当時のことなどを話しながら会場に着きました。

金子館長から詳細な展示概要の説明を受け、輝かしい歴史を持つ物件が整然と展示されている会場を回りました。

50年も安全運転に徹し、経済、文化交流の発展に寄与して、お役御免の新幹線0系前頭車に立つと、開業前から20年も国鉄広報で勤務した多くの経験が頭をよぎりました。

昭和37年9月、丹那トンネルが貫通する日、その現場で工事関係者、報道関係者と爆破音を聞き、火薬の臭いが充満、函南口から熱湯口に流れる中、万歳歓喜の渦の中にいました。

その後、名古屋-豊橋間の試乗会を担当、開業後は、風、雨、雪、地震の度重なる輸送障害、騒音公害訴訟も起き、楽しいこと、苦しいことも多く体験しました。

昼夜不休間なく記者クラブで情報の提供に明け暮れ、新幹線なら何でも新聞、テレビで報道される時代で、「カラスの鳴かぬ日」があっても、新幹線の話が連日取り上げられない日があったことを昨日のように思い出します。

車両の近代化で新旧交代も進み、沿線市町村から数々のSL保存要望に伴う契約を担当しました。

その契約の一つが、木曾川橋梁上で最高速度の記録を持つC62の2で名古屋市が東山動物園に、また、「貴婦人」と愛されたC57の137は、お召し列車を牽引した名譽あるSLで「準鉄道記念物」として学園に保存されました。

その2両が移管されており、その雄姿に再会、部内外の関係者との契約折衝のやり取りが浮かび、懐かしさは色褪し、胸に迫るものがありました。

広報時代に担当した業務の多くの思い出が、貴重な物件とともに「リニア・鉄道館」に永久に残されていくことを何よりも幸せに感じ「有意義な一日でした」。

## 富士山世界文化遺産周遊の旅



三島支部  
大川 一雄

昨年、平成25年6月22日富士山世界文化遺産登録を記念して、構成資産25、構成要素を含み33箇所を巡り、この目で世界文化遺産富士山の姿を確かめたいとバイクで構成資産巡りを計画しました。

この構成資産の幾つかは今までも訪ねてはいますが、富士宮浅間神社や白糸の滝、富士五湖、忍野八海、そして富士登山も20歳代に御殿場口、須走口などから数回登山していました。

今回の構成資産巡り(富士山頂を除き)をしてみて知らなかった箇所も多く、構成資産以外にも多くの遺産があり、樹木・風穴・水源(富士山には川はない)等、富士山は奥深いものです。世界文化遺産登録日(平成25年6月22日)須山口登山道(現御殿場口登山道)、須山浅間神社を最初に訪ねました。

須山に「浅間神社や御師宅・登山道」などがあることを初めて知りました。社殿が新しく、周りに数百年を経たと思われる杉の大きな木があり、階段から社殿を見上げ

ると神々しい雰囲気です。

一週り回り終わって一番心に残った遺跡は、知る人ぞ知る「人穴富士講遺跡」でした。

白糸の滝から北へ4キロ程のところに富士浅間神社があり、その境内に木立に囲まれた人穴富士講遺跡があります。余り世に知られていない遺跡に行ってみて驚いたのは、富士講の開祖長谷川角行が16〜17世紀に修築したとされる岩窟洞穴(総延長83.3m、高さ最大6m)と信者が建立した角行や先達の供養碑や顕彰碑・参拝記念碑、約230基が残されていました。

吾妻鏡によると13世紀には富士山の神の名称の一つ「浅間大菩薩」の御在所として神聖視されました。角行は、人穴に籠り角材の上に千日間つま先立ちして、富士参拝や水籠りも繰り返したという。一家繁栄などの「現世利益」をもたらす信仰の歴史を体験しました。

人穴の前で神聖な気持ちで参拝し、来て大変よかったと思います。「富士山世界文化遺産」は、見るところが沢山あります。皆さんにも富士山遺跡巡りを勧めます。



## 鉄道少年団とのSL清掃

御殿場支部 小松 眞清

爽やかな秋晴れのもと、平成26年9月21日御殿場支部と静岡鉄道少年団は、御殿場駅富士山口のポッポ広場に設置してあるSL「D5272」の清掃作業を鉄道OB会員11名、鉄道少年団員20名と一緒に実施しました。

最初に支部長よりSL「D5272」のポッポ広場への設置の経緯等を説明した後、清掃作業に取り掛かりました。

団員達は、車輪の大きさに驚きながらOB会員とともに車体を磨く人、給油をする人、運転室に入り警笛弁を引く人、更には運転台に座り得意な顔をする人等、若い団員達の賑やかな声とともに作業は進み、大勢の人の力は大きく、SLは美しい姿になって太陽の光を受け輝いていました。

作業終了後、全員で食事をしながら懇談し、団員から職場での苦労話を聞かせて欲しいとの要望があり、元機関士の会員が急勾配(25/1000)を黒煙を吐きながら旅客、貨物列車を引きながら山間部を走ったこと、トンネルに入ると熱気をはらんだ煤煙が運転室に舞い込み苦しかったこと、また、他の会員からも職場での苦労話をするなど、団員の質問には丁寧に答えていましたが、その質問も止まることなく互いに笑顔で楽しい一時を過ごして、一日の清掃作業を無事終了しました。

団員の皆様ありがとうございました。

当支部では、いつまでも美しい勇姿を後世に継承したいと願い年4回の清掃活動を継続していきます。



## 「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報(JROBとうかい)の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたもので、JR東海エリアを希望しています。 写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。 お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により楽しんでからおうと、「投稿ページの欄」を設けました。 家族成り又は友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。 写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の拠点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。 この欄では、各支部で行われている懇談会をはじめ、特色ある活動状況を広く周知し、魅力ある支部、活力ある支部づくりが役立てていきますので、是非投稿して下さい。 テーマ、内容等は自由ですが、400~500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。 応募は、会報発行毎に、一名様別ごとに製菓菓書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内になり、会報発行時の季節にあつたものとします。 応募の際、短歌に「短歌」「俳句」「川柳」と記載して下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。 原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなみ写真をあはせ添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承ください。 なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。 各寄稿・投稿に関しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集宛

## インストラクター

### 小学生にGゴルフを教える

静岡支部 大村 年瑋

静岡市の安東小学校から大岩Gゴルフ同好会(一般市民と鉄道OB会会員で構成)の中村義晴会長(鉄道OB会会員)に課外授業の一環として子供達にGゴルフを教えて欲しいとの依頼があり、ここ5年間続けてきましたが、今年も同好会の同僚12名をボランティアとして5月から11月(8月除く)までの各月2回のペースで15時から約一時間を実施しています。

先ず、5月の初回は教室で参加生徒32名に中村会長からGゴルフのルールやマナーを教え、その後グラウンドに出て1チーム4名の8ホールで競技に入り、各チームに同好会会員1名が付き添い指導とスコアラーを務め実施しました。



▲子供たちにGゴルフを指導

最初は、集合もまばらで自分勝手な生徒がいて手を焼きましたが、同好会会員も自分の孫の面倒を見るつもりで根気よく冗談や、いいプレーには最大限の言葉で指導した結果、生徒達も年寄りに対しての挨拶や言葉遣いも良くなり技量も少しずつ向上し、我々もほっとしました。

11月には、会員を上回る観前になっていないかと楽しみにしています。(Gゴルフ=グラウンドゴルフ)

### 我が支部の誇り



### 牧之原開拓の雄と ミニ鉄道

鳥田支部 松永 敏明

我が支部の誇りとして数ある中から、他に類を見ないと思われる二つを紹介します。

#### ■牧之原開拓の雄「中條景昭公」の立像

鳥田駅から東南方面へ約1kmのところ、大井川右岸にある牧之原台地の茶園に向かって、世界一長い木造歩道橋としてギネスブック世界記録認定897.4mの「蓬莱橋」があり、曜日を問わず見物客で賑わっています。

この橋を渡って牧之原台地の一角に登りきると、大井川を眼下に収め秀峰富士を背に、東に遠く駿河湾から伊豆の山々…。

西には、世界農業遺産に登録された茶草場農法のシンボルともなっている「茶」の文字を掲げている薬ヶ岳を従え、牧之原開拓の雄「中條景昭公」の立像が大茶園を望んでいます。

徳川幕府の直参旗本であった中條景昭公が率いた二百数十世帯の牧之原入植は、この地に新しい文化と産業振興をもたらした。現在の繁栄に伝承されています。開拓された茶園は、数々の辛苦を乗り越え東洋一と謳われる大茶園となり、全国へ良質茶を発信できることは、茶産地鳥田の大きな誇りであり、旧幕臣たちの定跡は、風雪の時を刻みながらもバイオエナジー精神であることを現代に伝えていきます。



▲ミニSL鉄道を楽しむ乗客

#### ■本格的なミニ鉄道のある中央公園(ローズアリーナ)

心身の健康と体力増強を目的とした総合公園としての中央公園内に設置されているミニ鉄道。「こんなにも本格的なSL軌道は他にない。周辺一帯を憩いのゾーンとして一層整備したい。」と市長に言わせた「ミニSL鉄道」は、平成23年4月に開通し、24年には「ミニ新幹線N700のぞみ号」を導入、軌道延長312mで、乗車時間は一周5分、コースには、駅舎、ホームや鉄橋、踏切などがあり、本物さながらの情景が楽しめます。

年間2万人の乗車計画が驚異的な短期間で本年9月23日乗客20万人を達成しました。3月から12月まで土・日・祝日運行。乗車料金は、小学生以上100円、幼児は無料です。

鳥田駅から徒歩5分のSL公園に展示「D51 101機関車」の見学と合わせ、県内外から多くの親子連れや鉄道ファンで賑わっています。このミニ鉄道運行業務には、我が支部の経験豊かなOB会員が「安全運転第一」をモットーにボランティア活動に従事しています。

是非一度当地にお出掛けください。お待ちしております。

## 文芸

## 【短歌】

さわやかな 朝の空気を 吸いながら  
 グラウンドゴルフに 元気をもらう  
 にも日を 一人で暮す 大変さ  
 妻がいた日を 感謝してをり

津支部 岡 俊雄

市を承けて 鉄道一〇〇年 祝いある  
 行き合うOB みな笑み持たて  
 わがいのら リニア開業に 届かざり  
 体験車に乗り 未来にひたる

上伊那支部 竹内道一

## 【俳句】

過ぎし日の 飄浮かび来る 年賀状  
 参道の闇 動き出す 初詣  
 秋澄じや 湖畔に映ゆる 小枝橋

浜松支部 大倉照二

白菊の 中に黄菊や 菊日和  
 園見たら 蹴ね飛び回る 小赤かな

東海東京地方本部 平沢英男

友が遠く 小雨の降つて 寒い夜  
 手袋に 名前と電話 記してあり

津支部 奥村大喜男

音がして ポストに入る 秋の文(秋)  
 観機 風了力を つけにけり(夏)  
 新築の 機音響く 寒の明(春)

東濃支部 長江 廣

## 【川柳】

奇蹟的に 歌手の名前の 口に出る  
 それも二・三回 聞いたきりなり  
 年をつい 言ったばかりに 若者の  
 イエーと浅らし 怒らに去る

浜松支部 原 哲

九十の 返還歩く 我ながら  
 先導するもの 自分の心  
 秋なれば 深夜は外は オークストラ  
 枕つけるは 惜し気がする

豊田支部 鈴木まよ子

長らえて 人の情が 身にしみる  
 今知つた 内助に 頭下げ

四日市支部 小川 勇

この先を 言えばはず 風が吹く  
 懸命に 生きた昭和も 遠くなり

津支部 山田寿男

若者よ 惜しまず膝けよ 老いにな  
 一人者 足して一つや 若い花

東濃太田支部 松木 弘

成功は 試行錯誤の 後に来る  
 他光年 人の寿命の 短きよ

大府支部 嶋田 勇

## 編集後記

新年おけましておめでとうございます。

会員の皆様は健やかに平成27年を迎えられたこととお慶びいたします。本年も東海鉄道OB会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。OB会の課題であります会員の減少が続く中で、新たな会員の勧誘に取り組んでまいりますので皆様のご協力をお願いします。

## 1. 本部より

平成26年秋の生存者叙勲は、4名の会員が受章されました。年々、受章者数が減少してきております。生存者叙勲の受章資格は、受章基準に適合される会員が少なくなっています。会員の中で、受章資格のある会員がおられましたらご連絡をお願いします。

## 2. 地本・支部だより

各支部の活動が、会員数の減少により、支部間交流として、近隣の支部と合同で旅行会やグラウンドゴルフなどを通して交流を深めておられ、支部活動の活性化を推進されています。また、定期的にハイキング、カラオケ大会、ゴルフ大会を開催され、多くの会員が参加しており、親睦を深める活動を積極的に開催されています。

## 3. 読者のひろば

陶都支部の原さんは、広報関係一筋を歩んでこられ、リニア・鉄道館を見学して、昔を懐かしく思われ、先人たちが残してくれたSLなどの遺産を、未永く保存されることを望まれています。三島支部の大川さんは、米寿を過ぎて今なお元気で、バイクに乗って、世界遺産登録された富士山の遺跡めぐりを楽しんでおられます。

## 4. 投稿ページ

御殿場支部は、鉄道少年団とSLの清掃活動を通して交流を図り、SLの運転に携わった会員たちが、子供たちに昔の苦労話を聞かせて、楽しい一日を過ごしておられ、今後とも、この活動を継続していただきたいと思えます。

(南川)

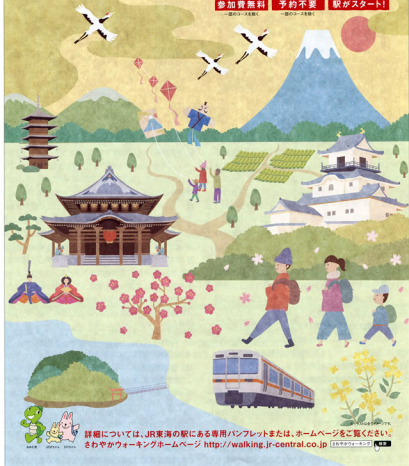
気軽に参加できる

2015年1月～3月

JR  
東海

# さわやかウォーキング

参加費無料 予約不要 駅がスタート!



詳細については、JR東海の駅にある専用パンフレットまたは、ホームページをご覧ください。  
さわやかウォーキングホームページ <http://walking.jr-central.co.jp>

JR OB とうかい

Vol.40 2015年1月

発行/〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤1-3-16 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/ 南川 靖 TEL.052-453-7292(FAX兼用)